

ICT園芸ハウス (ICTによる園芸施設管理)

農業者の高齢化・担い手不足により、離農・未利用農地が増加する中、地域農業の衰退を防ぐには、新規就農者の確保・育成が急務となっている。このため、園芸に興味をもつ若者の研修の場としてICTを活用した先進的な園芸施設を平成29年度に整備した。

若手農業者の他、地域の学生からもICT農業を体験してもらえるよう学校とも連携を図っていく。

○ハウス規模:幅22m×奥行54m
面積1,188㎡(約360坪)

○栽培品種 :中玉トマト

PC・スマホで
制御状況を確認、操作

気象観測機器



ICT園芸ハウス

複合環境制御盤

栽培データを蓄積して、安定した品質・収量の確保
農家へ情報提供

- ①高温や雨風天時は、天窓・カーテン・サイド被覆を自動開閉
- ②低温時は、暖房機を自動運転しハウス内を加温

自動換気・温度管理等により、天候の急変時にも無人での対応が可能
スマホ等の端末で、自宅や遠隔地からでもハウス環境の確認・操作が可能

→ 生産者の負担軽減・新たなビジネス創出の可能性へ